

## Ⅱ 令和3年度6月補正予算の主な施策

※令和3年度補正予算として専決した事業も一部含めて記載しています。

### 1 新型コロナウイルス感染症対策

#### (1) 医療提供体制の整備

- 入院患者受入れのための空床・休床確保、患者受入協力金、夜間・休日における患者受入体制、軽症者等のための宿泊施設確保、自宅療養者の診療体制や支援、PCR検査体制、搬送体制などについては、新規感染者数等を踏まえ、新たな病床確保計画に基づき再積算し、10月末までに必要な予算を計上します。
- 高齢者向けワクチン接種を早期に完了するため、診療時間外・休日に集団接種を行う医師・看護師等を確保する経費について、市町村を支援するとともに、県が特設会場を開設し、集団接種を実施します。
- 重症者の受入れ体制を強化するため、医療機関における重症者用病床の整備について、国庫補助に加え、新たに県独自の補助を行います。また、医療機関における体外式膜型人工肺（ECMO）、人工呼吸器などの設備整備に対し引き続き支援します。
- 感染者が多い地域における、接待を伴う飲食店の従業員に対するPCR検査について、市と連携した実施体制を新たに構築します。また、検査需要の増加に対応するため、医療機関や民間検査機関における検査機器の整備に対し支援します。

#### <主な事業>

・感染症患者受入れのための空床確保等事業	22,800,000 千円 (別冊 1 頁)
・患者受入協力金	4,770,000 千円 (別冊 2 頁)
・夜間・休日における患者受入体制の整備	42,000 千円 (別冊 3 頁)
・軽症者等のための宿泊施設確保事業	1,224,000 千円 (別冊 4 頁)
・自宅療養者等の診療体制の強化	178,000 千円 (別冊 5 頁)
・自宅療養者支援事業	461,300 千円 (別冊 6 頁)
・検査体制の確保	2,600,000 千円 (別冊 7 頁)
・搬送体制の確保	394,000 千円 (別冊 8 頁)
・ワクチン接種体制の強化【新規】(5月20日専決)	1,100,000 千円 (別冊 9 頁)
・県によるワクチン集団接種の実施【新規】(5月28日専決)	700,000 千円 (別冊 9 頁)
・重症者用病床整備事業【新規】(5月20日専決)	890,000 千円 (別冊 10 頁)
・医療機関等における設備整備	6,955,000 千円 (別冊 11 頁)
・接待を伴う飲食店の従業員に対するPCR検査【新規】(5月20日専決)	330,000 千円 (別冊 12 頁)

## (2) その他の感染症対策

- 感染拡大防止を図るため、介護施設等における個室化やゾーニング環境の整備に対し支援するとともに、特別支援学校のスクールバスについて、重症化リスクが高い生徒が乗車するコースなどに引き続き増車します。
- 感染症の影響により収入が減少した方への生活福祉資金の貸付については、申請の受付期間が8月末まで延長されたことに伴い、必要となる貸付原資を積み立てます。

### <主な事業>

- |                         |                     |
|-------------------------|---------------------|
| ・介護施設等における感染拡大防止に係る支援事業 | 256,000千円(別冊13頁)    |
| ・特別支援学校スクールバス感染症対策事業    | 172,621千円(別冊14頁)    |
| ・生活福祉資金貸付事業推進費補助金       | 12,200,000千円(別冊15頁) |

## 2 政策ビジョンの推進

### (1) 防災・防犯・交通安全対策の強化

- 災害発生時に各地域で災害ボランティアセンターが円滑に設置されるよう、新たに千葉県社会福祉協議会に指導員を配置し、市町村等に対し研修や設置・運営などの支援を行います。
- 一宮川流域浸水対策については、中流域の護岸法立や第二調節池の増設に係る予算を増額して事業を推進します。また、河道拡幅や護岸整備などの河川改良について拡充するとともに、土砂災害警戒地域の追加指定など、土砂災害対策も強化します。
- 農地の湛水被害を防止するための施設整備や、山崩れ・地すべりを未然に防止するための対策工事など、農地や山地の防災対策を強化します。
- 後を絶たない電話d e 詐欺の防止対策として、新たにSNSを活用した広報啓発を行います。また、警察体制の強化と県民の利便性の向上を図るため、香取警察署の建替えに着手します。
- 交通事故死者数の減少を図るため、新たに被害の多い高齢者向けの啓発動画を作成し、病院の待合室等で放映します。また、通学路などの歩道整備や交差点改良、信号機等の交通安全施設整備を拡充するとともに、道路の白線消えの解消に向け、区画線の引き直しについて、予算を増額して実施します。

## <主な事業>

- ・災害ボランティアセンター設置運営等支援事業【新規】 5,000千円（別冊 16頁）
- ・一宮川流域浸水対策特別緊急事業 1,936,000千円（別冊 17頁）  
（債務負担行為 2,540,000千円）
- ・河川・海岸・砂防事業 10,288,425千円（別冊 18頁）  
（債務負担行為 3,420,000千円）
- ・農地防災事業 1,287,505千円（別冊 19頁）
- ・治山事業 455,000千円（別冊 20頁）
- ・電話 de 詐欺被害防止広報・啓発事業 10,000千円（別冊 21頁）
- ・警察署庁舎整備事業 82,300千円（別冊 22頁）  
（債務負担行為 188,000千円）
- ・高齢者交通安全啓発動画作成事業（交通安全県民運動） 13,000千円（別冊 23頁）
- ・交通安全施設整備事業 3,929,517千円（別冊 24頁）  
（債務負担行為 480,000千円）

## （２）千葉経済圏の確立

- 中小企業振興資金については、感染症の影響の長期化に加え、今後の災害等の突発的な資金需要にも対応するため、融資枠を過去最大となる**1兆3,200億円**に拡大します。
- 県内へ立地する企業や、産業用地の確保に取り組む市町村に対し助成する、**立地企業補助金**について、**予算を増額**して企業立地の促進を図ります。
- 中小企業における**DX（デジタルトランスフォーメーション）推進の取組**を支援するため、新たに、**中小企業向けの研修**を行うとともに、デジタル技術の活用について県内企業・大学・金融機関等の連携を促進する**交流会**を開催します。
- 新型コロナウイルス感染症の収束後も見据え、**市町村や観光事業者等**が実施する、**中長期的な観光需要拡大に向けた広域的な取組**に対し**助成制度**を創設します。
- **二地域居住を含めた移住・定住**を促進するため、**東京メトロ主要駅やインターネットでの広告**により、居住地としての本県の魅力を伝える情報発信を行うほか、市町村と連携して、**移住相談会**を開催します。
- 本県への来訪者数が多く自治体間の国際交流が盛んな**台湾**に、新たに**観光レップ（現地代理人）**を配置し、更なる誘客につながるよう、各種**プロモーション活動**を行います。

<主な事業>

・ 中小企業振興資金	60,000,000 千円 (別冊 25 頁)
・ 立地企業補助金	815,000 千円 (別冊 26 頁)
・ 中小企業DX推進事業【新規】	20,000 千円 (別冊 27 頁)
・ 観光コンテンツ高付加価値化促進事業【新規】	40,100 千円 (別冊 28 頁)
・ 移住・定住促進事業	18,198 千円 (別冊 29 頁)
・ 海外プロモーション現地活動強化事業【新規】	6,500 千円 (別冊 30 頁)

### (3) インフラの充実

- 県民生活の利便性向上や安全・安心の確保を図るとともに、経済活性化・観光振興につなげるため、北千葉道路をはじめ、銚子連絡道路、長生グリーンラインなどのアクセス道路や地域に密着した道路など、道路ネットワークの整備を強力に推進します。
- 千葉港千葉中央地区について、物流拠点としての港湾機能を強化するため、埋立てによるヤード拡張や岸壁改修などを実施する埠頭再編整備に着手します。また、銚子沖における洋上風力発電施設の受入れのため、名洗港の改修を行うとともに、大型バスが安全に走行できるよう、館山港多目的棧橋の改良工事を行います。
- 誰もが安全で快適に利用できる交通手段の確保充実を図るため、ノンステップバスや福祉タクシー車両の導入に対し助成を行います。

<主な事業>

・ 道路ネットワーク事業	22,274,940 千円 (別冊 31 頁) (債務負担行為 5,306,000 千円)
・ 港湾事業	1,778,200 千円 (別冊 32 頁) (債務負担行為 255,000 千円)
・ 千葉港千葉中央地区埠頭再編事業 (特別会計港湾整備事業)【新規】	60,000 千円 (別冊 33 頁)
・ ノンステップバス等整備事業補助	28,000 千円 (別冊 34 頁)
・ 福祉タクシー導入促進事業	70,000 千円 (別冊 35 頁)

#### (4) 医療・福祉の充実

- 医師の時間外労働縮減のため、救急医療機関等におけるICTの導入などの取組に対し助成制度を創設します。また、医療機関が連携して遠隔医療を実施するための、遠隔画像診断装置の整備に対し支援します。
- 小児・AYA世代がん患者等が、将来に希望を持って治療に取り組めるよう、新たに妊孕性温存療法に対する助成を行います。また、難病患者等が自宅で歯科診療を受診できるよう、専門知識等を有する歯科医師の養成研修を新たに実施します。
- サービス付き高齢者向け住宅について、介護サービス事業所・医療機関等と連携が図られた良質な住宅の整備に対し、引き続き県単独の上乗せ補助を行います。
- 若年性認知症の方の社会参加の機会を創出するため、認知症デイサービス事業所等と連携して、本人に適した作業の選定や作業中のサポートなどを行うモデル事業を新たに実施します。

##### <主な事業>

・地域医療勤務環境改善体制整備事業【新規】	310,000千円(別冊36頁)
・遠隔医療設備整備事業	8,500千円(別冊37頁)
・小児・AYA世代がん患者等支援事業【新規】	21,000千円(別冊38頁)
・難病患者等のための在宅歯科医療推進事業【新規】	3,000千円(別冊39頁)
・サービス付き高齢者向け住宅整備補助事業	270,000千円(別冊40頁)
・若年性認知症の人の社会参加活動支援【新規】	2,200千円(別冊41頁)

## (5) 子育て・教育施策の充実

- 児童相談所の管轄規模の適正化に向け、印旛郡市と松戸市・鎌ケ谷市とをそれぞれ管轄する**児童相談所を新設**するため、**基本設計に着手**します。
- **ファミリーホーム**において、障害児等を受け入れるための**補助者を雇用**する場合や、**保育所等**において、**虐待防止対策**として相談支援業務を行う**社会福祉士等を配置**する場合、その経費を**支援**します。
- **児童養護施設の退所者等**が社会的に自立できるよう、引き続き**生活資金や資格取得費用の貸付**を行うとともに、就労に意欲的に取り組む**ひとり親家庭**に対し、新たに**家賃の貸付**を行います。
- **不育症検査**について、経済的負担の軽減と不育症リスク因子の早期発見のため、流産検体の染色体検査など先進医療検査の費用に対し、新たに**助成**します。
- 私学教育の振興と保護者負担の軽減を図るため、**私立学校経常費補助**について、**県単独の補助単価**を**高校、幼稚園とも2,000円**ずつ引き上げ、**専修学校も1,000円**引き上げます。
- 児童生徒が安心して学校生活を送れるよう、**スクールカウンセラー**を**全公立小学校**に配置するとともに、**スクールソーシャルワーカー**も**増員**します。
- 令和4年度から、**全県立学校**において**1人1台**端末で**ICT**を活用した授業を実施するため、高速大容量通信が可能となる**新たなネットワークの整備**を行います。

### <主な事業>

・児童相談所の新設【新規】	11,528千円（別冊42頁） （債務負担行為101,000千円）
・ファミリーホーム体制強化事業【新規】	48,960千円（別冊43頁）
・保育所等における要支援児童等対応推進事業【新規】	14,843千円（別冊44頁）
・児童養護施設退所者等に対する自立支援資金貸付事業	86,000千円（別冊45頁）
・ひとり親家庭住宅支援資金貸付事業【新規】	98,400千円（別冊46頁）
・不育症検査費用助成事業【新規】	10,000千円（別冊47頁）
・私立学校経常費補助（一般補助）	21,729,421千円（別冊48頁）
・子供たちの心のケア等を行う体制の強化	132,000千円（別冊49頁）
・新学習用ネットワーク整備事業【新規】	79,200千円（別冊50頁） （債務負担行為821,000千円）

## (6) 農林水産業の振興

- 県産農林水産物を活用した商品開発等を促進するため、新たに、県内中小企業の製造技術と小売店等のニーズをマッチングするとともに、商品改良に繋げるテストマーケティングを行います。また、本県で開発した梨やカラーの新品種についてPRを行います。
- 環境制御装置などスマート農業機器の導入効果を高めるため、新たにコンサルタントによる指導を行うとともに、スマート農業機器の普及を図るため、農業大学校に環境制御ハウスや牛行動管理システムを導入し、体験研修を行います。
- 畜産業における生産性の向上や長時間労働の解消を図るため、酪農家や和牛繁殖農家におけるAIシステムや自動化ロボットなどの導入に対し助成制度を創設します。
- 生息数の増加が著しいキョンの捕獲用罠にICT機器を導入し、省力効果の実証実験を行います。
- 鳥インフルエンザ等の家畜伝染病を予防するため、県内全ての養鶏・養豚農場に対し、巡回点検と指導を実施します。
- 県内の森林整備を促進するため、都市部と森林地域の市町村が連携して、森林環境譲与税を活用した森林整備に取り組むモデル事業を新たに実施します。
- 漁業者の収益向上を図るため、船形漁港内の荷捌き施設について、高度な鮮度・衛生管理機能を導入するための建替えに対し支援します。

### <主な事業>

・ちばのキラリ商品支援事業【新規】	33,500千円(別冊51頁)
・梨・カラー新品種PR事業【新規】	8,000千円(別冊52頁)
・スマート農業技術高度化産地支援事業【新規】	2,500千円(別冊53頁)
・スマート農業普及啓発事業【新規】	45,428千円(別冊54頁)
・スマート畜産推進事業【新規】	15,000千円(別冊55頁)
・外来種特別対策事業	7,000千円(別冊56頁)
・飼養衛生管理指導強化事業【新規】	14,200千円(別冊57頁)
・森林整備広域連携モデル事業【新規】	7,000千円(別冊58頁)
・生産拠点漁港市場機能強化事業【新規】	23,115千円(別冊59頁)

## (7) 共生社会の実現

- 県内における外国人への日本語教育の環境整備を促進するため、新たに総括コーディネーターを配置するとともに、日本語ボランティアの育成研修を実施します。
- ボランティアを希望する方が、関心の高い分野のボランティア情報にアクセスし、参加申込できるマッチングサイトを開設するとともに、ボランティアの受入れ経験が少ない団体を支援するなど、ボランティアが活動しやすい環境を整備します。

### <主な事業>

- ・ 地域日本語教育推進事業【新規】 4,450 千円 (別冊 60 頁)
- ・ 地域ボランティア活動環境整備事業【新規】 17,000 千円 (別冊 61 頁)